
9/28日
Fate/stay night
先行試写会決定!!
東京（新宿バルト9）、大阪（梅田ブルク7）、徳島（ufotableCINEMA）にて先行試写会の開催が決定しました。プレリザーブは9月13日(土)からスタート。詳しくは公式WEBへ！
セイバー
衛宮士郎が召喚したサーヴァント。剣士のクラスに属する。最強クラスの能力を秘めている彼女にもまた聖杯を求める理由があった
遠坂 凛
衛宮士郎のクラスメイトにして遠坂家の当主。ふだん優等生ぶっているが、実は宝石を使う優秀な魔術師一門の当主。士郎の同級生
アーチャー
遠坂凛が召喚したサーヴァント。弓兵のクラスに属する。そのキザで皮肉なことばの裏に恐るべき実力を隠しているようだが……
衛宮士郎
本作の主人公。高校2年生。魔術師の見習いにすぎないが、偶然にもセイバーを召喚してしまい「聖杯戦争」に参加することになる
もうすぐ戦争が始まる。誰も知らない、
だけどはるか昔から繰り返されてきた戦争が。
亡き父がひとりの魔術師として
全身全霊を懸けて挑み、敗れてしまった、
あの戦いに私は臨む。
迷うコトなんてない。
恐れるコトなんかない。
私は、遠坂の魔術師だ。
父の名において、私の意志において、
この戦いに負けることなんてありえないんだから。
――第五次聖杯戦争開幕直前。
契約という絆
TV Fate/stay night
●「Unlimited Blade Works」2014年10月4日より放送開始
●「Heaven's Feel」劇場版アニメ制作決定
WEB▶ http://www.fate-sn.com/
STAFF 原作＝TYPE-MOON
CAST
Newtype 42

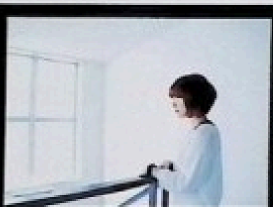
英霊の理

サーヴァントとマスターと聖杯戦争

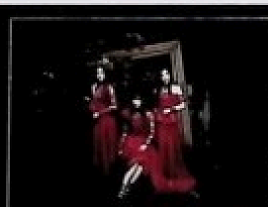
あらゆる願いを叶えると言われる「聖杯」。それがこの物語の舞台である冬木市には存在すると言われている。その「聖杯」をめぐって行なわれる魔術師同士の戦いが「聖杯戦争」だ。これまでに冬木市では数度かの「聖杯戦争」が勃発してきた。そして、今、5度目の聖杯戦争が始まろうとしている。

「聖杯戦争」には厳密なルールが存在する。参加者は「聖杯」に選ばれた七人の魔術師のみ。彼らはマスターと呼ばれ、それぞれ英霊を召喚し、サーヴァント（使い魔）とすることができる。英霊とは過去の英雄や神話、伝説の登場人物たちのこと。英霊には七つのクラスがあり、七つの魔術師たちはそれぞれ、七つのクラスのいずれかの英霊を召喚することになる。サーヴァントとなる英霊たちも「聖杯」を手に入れて願いを叶えようとしている者たちばかり。一騎当千の英雄や万夫不当の戦士たちが現代の地に降り立ち、「聖杯」をめぐって殺し合う戦い。それが第五次聖杯戦争なのである。

なお、マスターには、サーヴァントに絶対の命令を下せる「令呪」が3つ与えられている。これらのルールを監視するのが「聖堂教会」だ。彼らの管理する「聖杯戦争」の中で、聖杯を手にすることができるのは、ひと組のみとされている。はたして誰が生き残るのか。驚異のバトルロワイヤルの火ぶたが切り落とされる！



オープニング
綾野ましろ
本作がデビュー曲となる北海道出身の新人女性シンガー。デビュー前から動画配信で注目を集めるなど、高い可能性を秘めている。その透明感の高い歌声で本作を華々しく彩る



エンディング
Kalafina
Wakana、Keiko、Hikaruの3人からなる女性ボーカルユニット。本作の前日譚『Fate/Zero』に引き続き、今回はED曲で参加が決定。TYPE-MOON作品には欠かせない歌声が響き渡る

Caster

魔術の力で人を操り マスターに忠誠を誓う

魔術師の英霊。基本的に高度な魔術をもつ英霊が選ばれるクラス。クラス特性として「陣地作成」と「道具作成」を有しており、「陣地作成」で自分に有利なフィールドを築きあげるほか、召喚した魔獣やみずから生み出した創造物に戦闘を代行させることもできる。

Assassin

姿を見せない 神出鬼没な英霊

暗殺者の英霊。「気配遮断」の能力を保有している英霊が、このクラスに適性があるとされている。神出鬼没、トリッキーな行動パターンを得意とする。英霊同士の戦いよりも、諜報や対人戦闘を得意とすることが多いため「マスターの天敵」と呼ばれることもあるらしい。



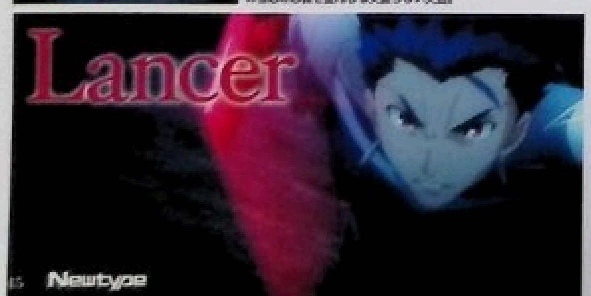


ランサーの戦い槍が迫る。セイバー対ランサーの戦いが始まる。一瞬の油断も許されない緊迫した戦いに、士郎は恐怖を感じる。これが「聖杯戦争」の始まりだった



スマートな体から繰り出す槍 己の信念と忠義を重んじる男

槍兵の英霊。魔力も含めて各能力値が水準値以上の英霊が選ばれるクラス。最高の敏捷性と高い白兵戦能力を発揮する。クラス特性として「対魔力」を有する。今回の第五次聖杯戦争に召喚されたランサーは、口は悪いが己の信念と忠義を重んじる英霊らしい英霊。



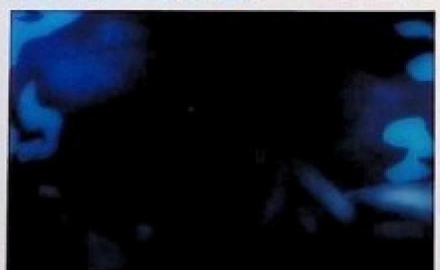
Lancer

マスター
イリヤスフィール・フォン・アインツベルン

始まりの御三家・アインツベルン家の代表として聖杯戦争に参加する少女。母はアイリスフィールと衛宮切嗣。全身に魔術刻印が刻まれている







Berserker

その体に強大な力を秘め 少女を守りつづける

狂戦士の英霊。過去の伝承において「狂気」にとらわれたエピソードをもつ英霊が選ばれるクラス。クラス特性は「狂化」。基本能力を問わず、ただ狂うことで破壊に特化した能力を発揮する。理性は失われ一部の能力は劣化、使用不能となり、魔力消費量が膨大になるというデメリットを兼ね備えている。

契約という絆

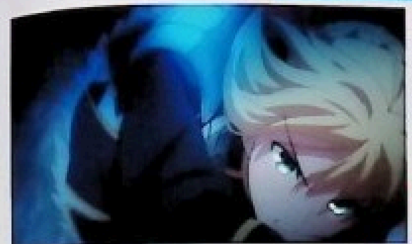
召還した少女は、実力を振るえない最強の剣士

剣士の英霊。能力値が水準値以上の英霊のみが選ばれるクラス。攻守バランスが取れた能力をもつことから「最優」のクラスと称される。クラス特性として、最高の「対魔力」と「騎乗」を有している。衛宮士郎が偶然、召喚してしまったサーヴァントは、このクラスに該当する。残念ながら士郎が魔術師として未熟なため、彼女に魔力がうまく供給されず、思うように力を振るえぬまま「聖杯戦争」へ参戦することになる。その真名はアルトリア。なお、彼女は10年前の第四次聖杯戦争にも参加している。そのときのマスターは士郎の養父・衛宮切嗣。









「──問おう。貴方が、私のマスターか」。見えない剣を振るうセイバー。その美しくも圧倒的な力は、ほかのサーヴァントを圧倒する。はたして彼女が戦う理由はいったい何なのか



Saber

マスター
衛宮士郎

魔術師見習いの高校生。10年前の大火災で衛宮切嗣の養子になった。切嗣の遺志を継いで「正義の味方」になろうと日々鍛錬している





Rider

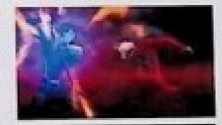
聖杯戦争を混乱に陥れる 呪われた魔力をもつ騎兵

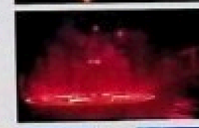
騎兵の英霊。乗り物と関係の深い英霊が選ばれるクラス。高い戦闘能力と機動力という特徴がある。クラス特性として「騎乗」と「対魔力」を保有する。

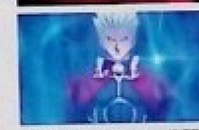


マスター
遠坂凛

冬木市を管理する魔術の名門・遠坂家の当主の高校生。学校では文武両道の優等生を演じている。亡き父・時臣の遺志を継ぎ、聖杯戦争に参戦。満を持して英霊を召喚するが──





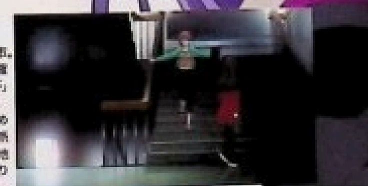


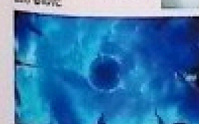


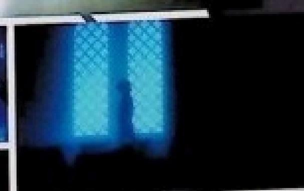
「君が私のマスターなのか？」。遠坂凛が召喚した英霊はアーチャーだった。不遜な態度に腹を立てる凛。だが、このアーチャーの実力はほかのサーヴァントを凌駕していた

約束の地、冬木

自然豊かな地方都市・冬木市。ここには「聖堂教会」により隠匿された「第七百二十六聖杯」が存在する。数十年に一度、現われるとされる「聖杯」をめぐり、「魔術協会」などから派遣された魔術師たちがこの地に結集。命懸けの戦いを繰り広げるのだ















Archer

少女が召喚した男は 記憶を失った皮肉屋の弓兵

弓兵の英霊。射撃に関する能力をもつ英霊が選ばれるクラス。基本能力こそ低いが、高い戦闘スキルと射撃能力をもっている。クラス特性として「対魔力」と「単独行動」を有している。遠坂凛が満を持して召喚したサーヴァントはこのクラスに該当する。皮肉屋で現実主義者だが、凛の命令には忠実。弓兵でありながら2本一対の剣「干将・莫耶」を用い白兵戦を好むため、たびたび凛を戸惑わせる。凛が召喚に失敗していたため、彼の記憶が混乱しており自分が何者かを忘れてしまっている。凛も真名を知ることができないまま「聖杯戦争」に臨む。